

城崎道路 技術検討会（第1回）
説明資料

国土交通省近畿地方整備局
豊岡河川国道事務所

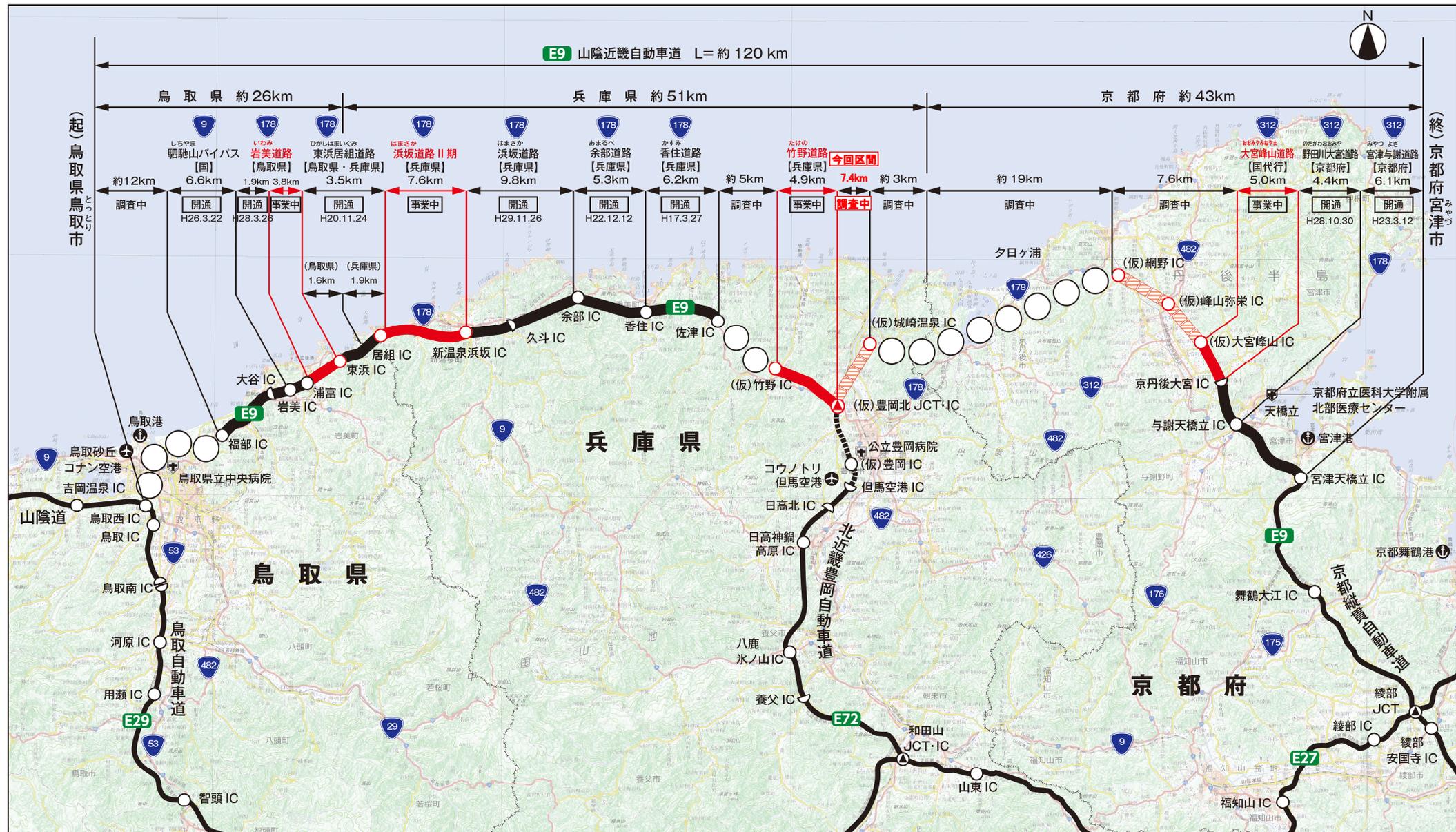
目次

1. 技術検討会の概要	・ ・ ・	2
2. 技術的課題への対応について	・ ・ ・	8
3. 現地調査計画	・ ・ ・	22
4. 今後の進め方（予定）	・ ・ ・	26

1. 技術検討会の概要

1. 技術検討会の概要（山陰近畿自動車道について）

- 山陰近畿自動車道は、鳥取県鳥取市から京都府宮津市に至る延長約120kmの高規格道路。
- 山陰近畿自動車道が整備されることで、北近畿豊岡自動車道や京都縦貫道、鳥取自動車道、山陰道と接続し、格子状の高速道路ネットワークが形成される。



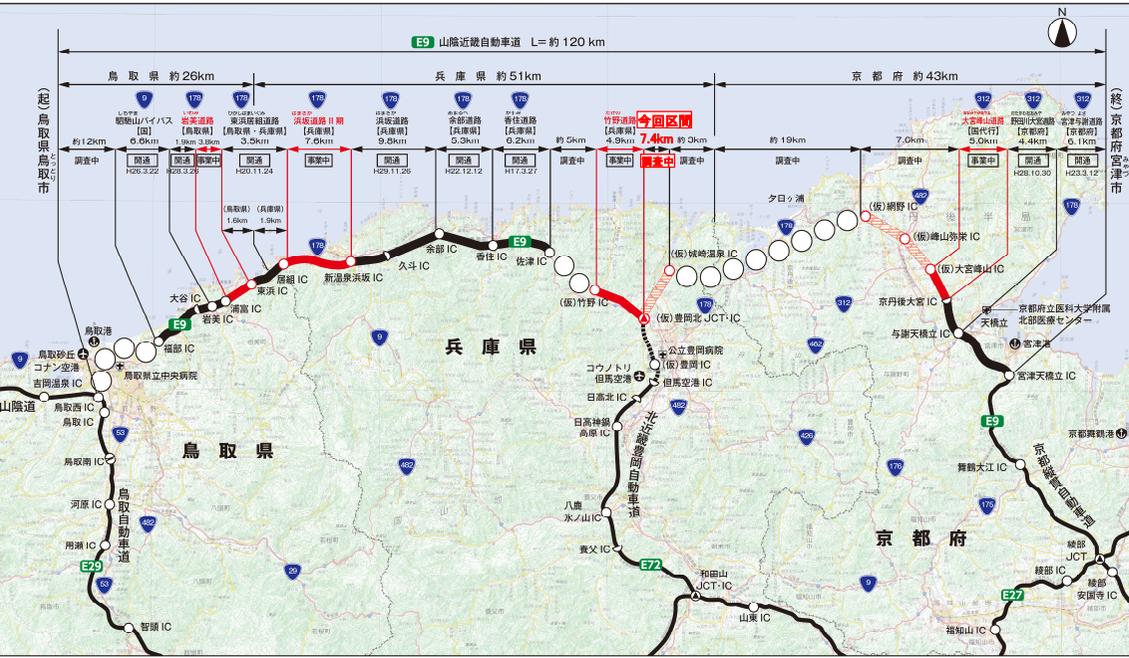
この地図は、国土院院長の承認を得て、同院発行の電子地形図 20 万を複製したものである。(承認番号 平 28 情複、第 220 号)

開通区間: 黒線 事業中区間: 赤線 (山陰近畿自動車道) 未事業化区間: 斜線 (都市計画決定済) (山陰近畿自動車道以外) 白線 (都市計画未決定)

1. 技術検討会の概要（山陰近畿自動車道（豊岡北～城崎温泉）について）

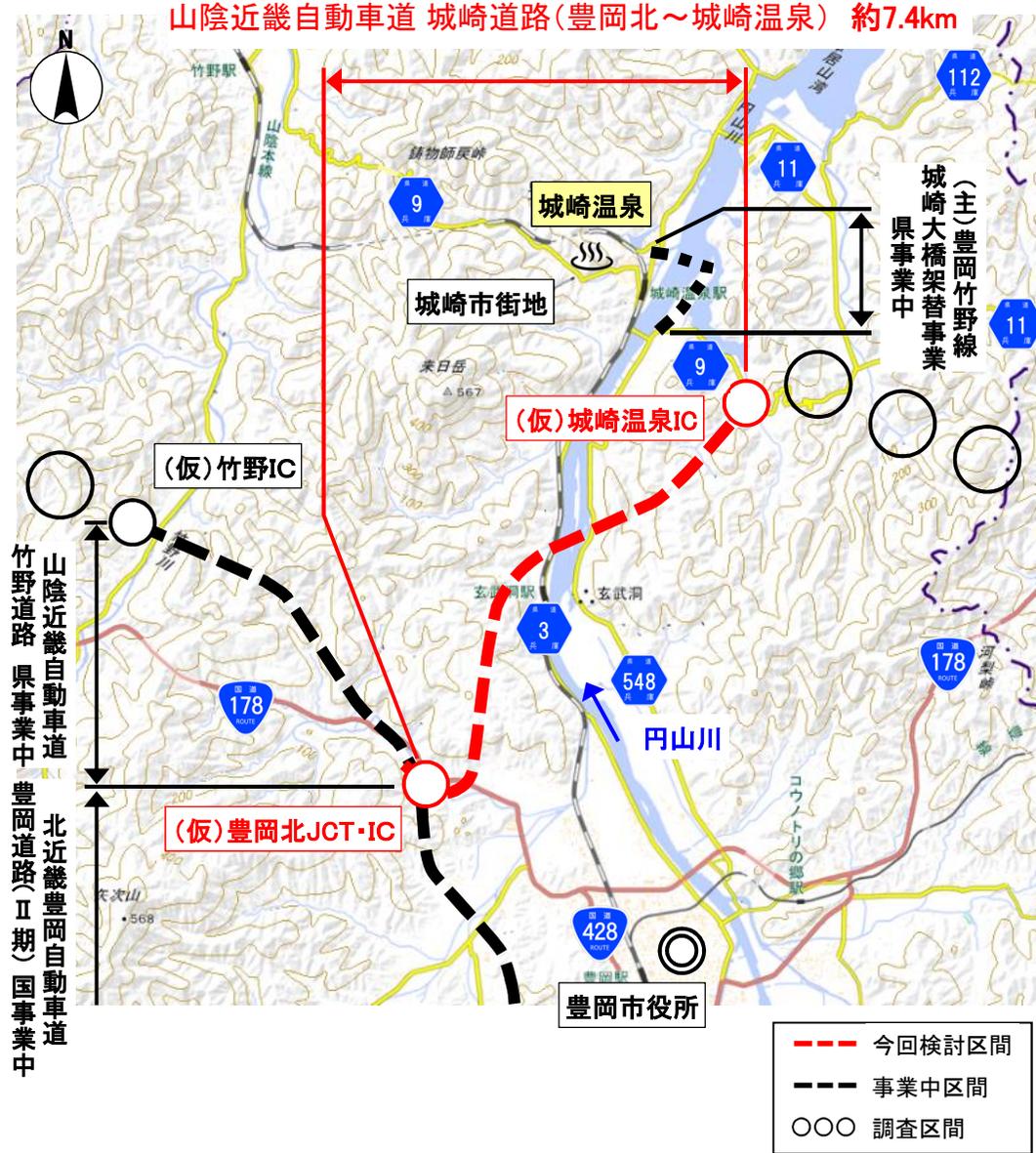
- 山陰近畿自動車道(豊岡北～城崎温泉)は、高規格道路 山陰近畿自動車道の一部を構成する延長約7.4kmの道路。
(以降、城崎道路とする)

<広域図>



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図20万を複製したものである。(承認番号 平28情機、第220号)
 開通区間：—— 事業中区間：—— (山陰近畿自動車道) 未事業化区間：—— (都市計画決定未済) (山陰近畿自動車道以外) ○○○ (都市計画未決定)
 出典：山陰近畿自動車道リーフレット

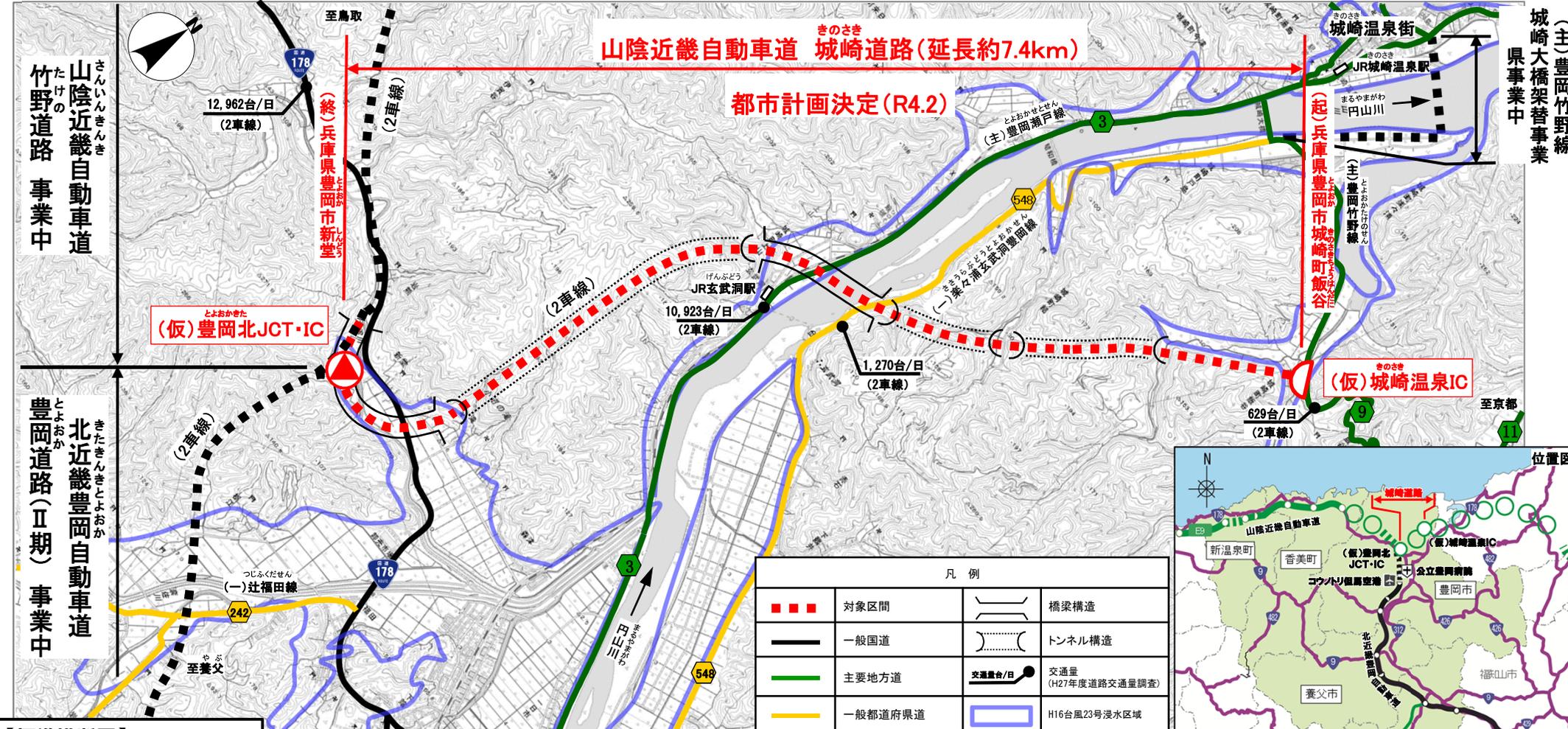
<拡大図>



山陰近畿自動車道 城崎道路(豊岡北～城崎温泉) 約7.4km
 竹野道路 県事業中
 豊岡道路(Ⅱ期) 国事業中
 北近畿豊岡自動車道
 城崎温泉
 城崎市街地
 (仮)竹野IC
 (仮)豊岡北JCT-IC
 (仮)城崎温泉IC
 豊岡市役所
 城崎大橋架替事業 県事業中
 (主)豊岡竹野線
 今回検討区間
 事業中区間
 調査区間

1. 技術検討会の概要 (城崎道路について)

- 城崎道路は第1種第3級の2車線道路。延長約7.4kmのうち、橋梁延長が約2.4km、トンネル延長が約3.9kmとなっている。

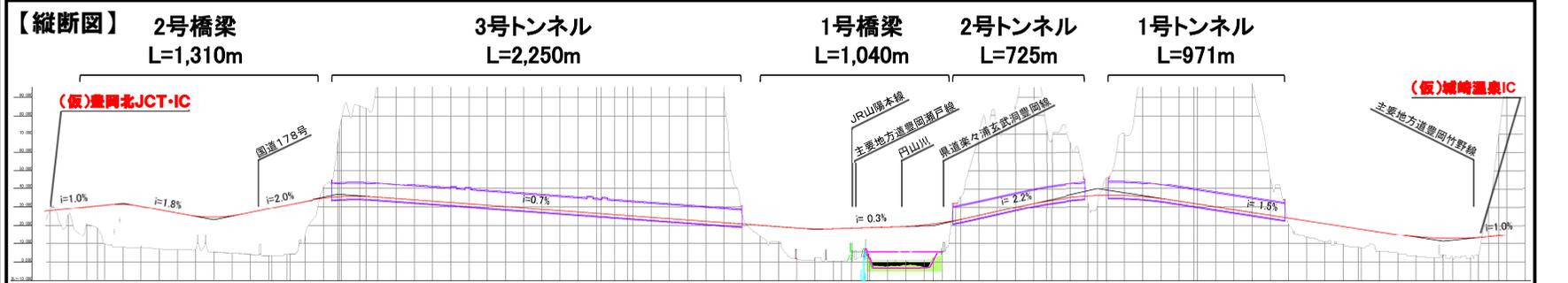
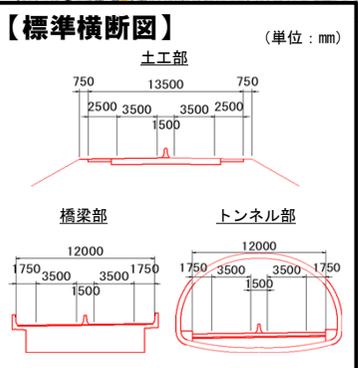


山陰近畿自動車道
竹野道路 事業中

北近畿豊岡自動車道
豊岡道路(Ⅱ期) 事業中

(主)豊岡竹野線
城崎大橋架替事業
県事業中

凡 例			
■■■■	対象区間	〰〰〰	橋梁構造
—	一般国道	⌒⌒⌒	トンネル構造
—	主要地方道	交通量/日	交通量 (H27年度道路交通量調査)
—	一般都道府県道	〰〰〰	H16台風23号浸水区域



1. 技術検討会の概要（検討会の目的）

- R元年度の兵庫県技術検討会において、事業実施時に想定される下記5つの技術的課題及び対応案をとりまとめている。

【兵庫県技術検討会での5つの技術的課題及び対応案】

課題①閃緑岩が貫入した地質構造

トンネル掘削時に貫入岩（閃緑岩）の掘削に伴う突発湧水や切羽・天端の崩落が懸念

【対応案】
貫入岩が存在することを前提とした設計と高度な施工管理が必要

課題②水源地への近接

周辺地域の重要な水源として利用されている二見水源地に近接するため、トンネル掘削に伴う水枯れが懸念

【対応案】
水源への影響を回避するための高度な技術・経験を要する調査・設計と施工が必要。

課題③河川内における厚い軟弱地盤

円山川渡河部は軟弱地盤層が厚く、非出水期（11～5月）内では、通常の仮橋による施工が困難

【対応案】
厳しい現場環境に応じた高度で的確な工法選定と施工計画が必要

課題④地すべりの要因（北但層群の分布）

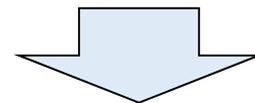
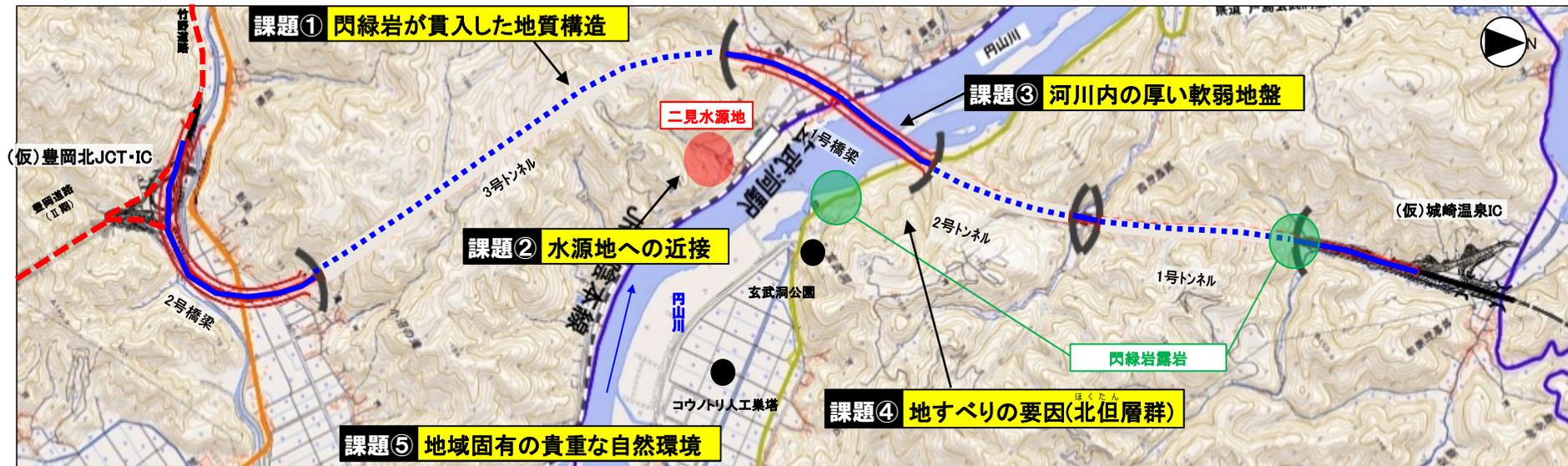
ルート付近には地すべりブロックが点在しており、トンネル掘削による緩みの影響で地すべりが滑動する危険性あり

【対応案】
施工時に地すべりに遭遇した場合の対策方法や施工管理に高度な技術力が必要

課題⑤地域固有の貴重な自然環境

近接するコウノトリ生息地や玄武洞など地域固有の貴重な自然環境への配慮が必要

【対応案】
貴重な自然環境に対する負荷の少ない設計、施工が必要



城崎道路技術検討会は、兵庫県技術検討会にて示された上記の技術的課題及び対応案に対して、課題解決に向けた高度な技術力の必要性を確認することを目的とする。